

# 資料編

- 第 10 期社会教育委員の会議の協議テーマ
- 第 10 期社会教育委員名簿
- 第 10 期社会教育委員の会議 協議経過
- ヒアリングを行った団体・見学先の概要

## 第 10 期社会教育委員の会議の協議テーマ

### 1 協議テーマ

寄り添う学習支援と中高生の社会的居場所づくり

### 2 理由

子どもが健全に成長するには、社会とのつながりの中で“他者”に自分が受け入れられ共感的理解を示される関係と、そういった関係が存在する場所である“社会的居場所”が必要である。“他者”には、両親、教師、友人、地域の大人など、子どもが日常的に接する人々が含まれる。

しかし今、地域・家庭・学校の様々な状況により、“社会的居場所”をなくしている子どもが増えている。時として、貧困を背景として、親が子どもの良き“他者”に成り得ないのみならず、子どもの学力へも影響を及ぼしている場合も見られる。特に中高生においては、進学で、それが顕著に現れる傾向がある。

貧困の連鎖によって子どもたちの将来が閉ざされることなく健全な成長をとげるために、学習支援や居場所づくりの取り組みが、NPO団体などを中心に全国的に点在しており、葛飾区においてもその萌芽が見られる。

中高生の“社会的居場所”づくりや“寄り添う学習支援”のあり方について、葛飾の特性をふまえた上で、地域コミュニティと学校を含めて総合的に検討していくことが、社会教育の課題である。

## 第 10 期社会教育委員名簿（任期 平成 27 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

| 氏 名   | 現 職 等               | 選出区分    | 備 考 |
|-------|---------------------|---------|-----|
| 辻 浩   | 日本社会事業大学教授          | 学識経験者   | 議長  |
| 大島 英樹 | 立正大学教授              | 学識経験者   | 副議長 |
| 石原 啓子 | ハーフタイム代表            | 社会教育関係者 | 副議長 |
| 水野 成彦 | 葛飾区立中学校 P T A 連合会代表 | 社会教育関係者 |     |
| 清水 剛  | 葛美中学校学校地域応援団        | 社会教育関係者 |     |
| 山崎 美雪 | 葛飾区青少年育成青戸地区委員会     | 社会教育関係者 |     |
| 米倉 康行 | 葛飾区立中之台小学校校長        | 学校教育関係者 |     |
| 入山 賢一 | 葛飾区立一之台中学校校長        | 学校教育関係者 |     |

## 第10期社会教育委員の会議 協議経過

| 回            | 月 日            | 内 容   |
|--------------|----------------|---|
| 第1回会議        | 平成27年<br>6月12日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育委員の委嘱</li> <li>・正副議長の選出</li> <li>・協議テーマの確認</li> <li>・社会教育関係団体への補助金の審議</li> </ul>      |
| 第1回<br>正副議長会 | 7月3日           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議スケジュール、議事運営について</li> </ul>  |
| 第2回会議        | 7月17日          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・中高生を取り巻く状況と区内外の取り組みについて</li> <li>・今後の会議のスケジュールについて</li> </ul>                             |
| 第3回会議        | 8月21日          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・中高生を取り巻く状況と区内の取り組みについて</li> </ul>   |
| 第4回会議        | 9月11日          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・中高生を取り巻く状況と区内の取り組みについて</li> </ul>   |
| 第5回会議        | 10月26日         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・区外の中高生支援の取り組みについて</li> </ul>  |
| 第6回会議        | 11月20日         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・区外の中高生支援の取り組みについて</li> </ul>  |
| 第2回<br>正副議長会 | 12月16日         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・会議スケジュール、議事運営について</li> </ul>  |
| 第7回会議        | 12月25日         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・区(福祉分野)の取り組みについて</li> <li>・課題の整理</li> <li>・提言の構成、会議スケジュールについて</li> <li>・起草委員選出</li> </ul> |
| 第1回<br>起草委員会 | 平成28年<br>1月28日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・提言の検討</li> </ul>  |
| 第2回<br>起草委員会 | 2月24日          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・提言の検討</li> </ul>  |
| 第8回会議        | 3月22日          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・提言の検討</li> </ul>  |
| 第9回会議        | 4月22日          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・提言の検討</li> </ul>  |
| 第10回会議       | 5月27日          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育関係団体への補助金の審議</li> <li>・提言の検討</li> </ul>   |
| 第11回会議       | 6月24日          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・提言の提出</li> <li>・提言の普及活動について</li> </ul>  |

## ヒアリングを行った団体・見学先の概要

第10期社会教育委員の会議における協議の中で参考にした団体や取り組みについて、紹介します。

### 特定非営利活動法人 文化学習協同ネットワーク

所在地：東京都三鷹市

#### (1) 活動内容

東京都三鷹市、西東京市、練馬区、神奈川県相模原市にて、子ども・若者支援を行っている。

##### ■ 子ども支援事業

(三鷹市)

- ・ 文化学習センター
- ・ フリースペース

「コスモ」(不登校の子どもの居場所)

- ・ 「コスモアミックス」(特別支援教室)

##### ■ 社会的事業

- ・ コミュニティ・ベーカリー「風のすみか」(三鷹市)
- ・ 風のすみか農場「ニローネ」(相模原市)

##### ■ 若者支援事業

- ・ 地域若者サポートステーション(三鷹市、練馬区、相模原市)

##### ■ 経済的困窮世帯の子ども・若者支援事業(訪問支援、学習支援、居場所づくり支援)

- ・ 西東京市、三鷹市、練馬区、相模原市



#### (2) 活動日時

月～日曜日の日中から夜間にかけて、子ども・若者宅への訪問や、子ども・若者の居場所づくりや学習支援、就労支援などを行っている。活動曜日や時間は地域ごとに異なる。

#### (3) 経緯

1974年 地域の父母の要請に応じて、中学生のための「勉強会」を三鷹市で開設  
(後に、小学生、高校生も対象になる)

1985年 父母の要請で小金井に父母運営の学習教室(塾)づくり運動に参加  
(以後、三多摩地方の各地で取り組む)

- 1993年 不登校の子どもたちのためのフリースペースを開設
- 1999年 NPO法制定にともなって、特定非営利活動法人として再出発  
(引きこもりや若者の社会参加支援もテーマに加える)
- 2002年 若者が働きながら学ぶ「中間的就労の場」創出のために、コミュニティ・ベーカリープロジェクトを開始
- 2004年 コミュニティ・ベーカリー「風のすみか」オープン
- 2005年 若者のための宿泊型生活訓練プログラム（若者自立塾：厚生労働省委託事業）を開設
- ・若者サポートステーション（厚生労働省、2007年、2009年）
  - ・若者の居場所 コンパス（東京都、2008年～）
- 2008年 発達障害の子どもへの特別支援プログラム「コスモアミックス」を開始  
自治体と連携して生活保護受給世帯の子ども・若者支援事業を開始  
西東京市（2008年～）、武蔵野市（2009年～）、三鷹市（2010年～）、  
練馬区（2010年～）
- 2015年 生活困窮者自立支援事業を開始

## NPO 法人 さいたまユースサポートネット

所在地：埼玉県さいたま市

### （1）さいたま市生活困窮者学習支援教室

さいたま市内在住の生活保護世帯および児童扶養手当全額受給世帯の中学生・高校生を対象に、さいたま市からの委託を受けて運営している。活動は〈月曜～金曜〉の週2回2時間ずつ、さいたま市内10か所の公共施設で行う。生徒と大学生のボランティアが、1教室あたり毎回10～30人程度参加している。生徒は約360人。学生ボランティアは約200人（累計登録者数は約670人）が、登録・参加している。



教室内ではすべての子どもたちがもつ学ぶ権利を保障する“学習支援”の活動はもちろんのこと、子どもたちが安心しておしゃべりしたり仲間づくりを行ったりすることができる“居場所”としての機能も大切にしている。学習には市販の教材や教室スタッフ・学生ボランティアが手作りしたプリントなどを用いて、日々の宿題から受験勉強まで幅広く教える。季節の行事に合わせて実施するレクリエーションでは、皆でゲームやお菓子を楽めます。時には2時間にわたり悩み相談をもちかけてくる生徒もいるが、その声を真摯に受け止めることもまた大切な活動の一つととらえている。

さまざまな困難を抱えた若者であっても格差を超えてつながれる地域づくりを目指して、取り組んでいる。

## (2) たまり場

週1回、土曜日の午後2時30分～4時30分に、さいたま市内で開催している。“交流の場”と“学び直しの場”の2部屋がある。交流の場では、友達とゆっくりおしゃべりをしたり、将来を考えることができる。学び直しの場では、学習につまずきかけた人も一緒に学び直しを行い、自分の進路について考えることができる。

ボランティアは、若者たちとほぼ同世代の大学生たちが中心。利用者と支援者の垣根を超えた若者のコミュニティとなり、自分の生きがいや役割、社会性、生きる意欲を見出す場となっている。「たまり場」に参加するすべての人たちで、季節の行事やイベントを計画・実施している。



## (3) さいたま市若者自立支援ルーム

さいたま市在住の中高生から30代までの若者を対象に、不登校、引きこもり、障がい、貧困などのリスクから、生きにくさを抱え、居場所のない子ども・若者のための常設の居場所。それぞれの悩みに応じたプログラムや、季節に合わせた行事などを実施している。同時に、子ども・若者たちのコミュニティづくりを応援し、地域の人たちとの多様な交流を通して、地域づくりの拠点になることも目指している。

「ルーム」にやってくる若者は30人を超えることもあり、そのほとんどは社会で孤立している。利用者一人ひとりの声に耳を傾け、寄り添うことを心がけている。



## (4) 地域若者サポートステーションさいたま

厚生労働省の認定事業として15歳から39歳の方を対象に就労支援を行っている。利用者の中には引きこもり、不登校、ニート、高校中退、無業といった経験をもつ方も多くいるが、ここで相談をしたり、さまざまなセミナーや体験活動に参加したりすることを通して、

「働くこと」への意識をもち、就労に向けての歩み始めることを目的としている。特に、人とのかかわり、地域とのかかわりを大切にしながら利用者一人ひとりをサポートしている。



## 特定非営利活動法人 豊島子どもWAKUWAKUネットワーク

所在地：東京都豊島区

### (1) 事業と活動

“子どもの貧困”をテーマに、地域の子どもの地域で見守り育てることをコンセプトとして、2012年に設立。遊びサポート、学びサポート、暮らしサポートという3つの事業で、子どもの生活全体をサポートしている。子どもも保護者も安心して過ごせ、地域の人とつながる場である“居場所”が、さまざまな形で地域に点在することを目指している。



### (2) 遊びサポート

火を炊いたり、木に登ったり、穴を掘ったり、泥んこになって遊んだり、自然の中の素材や道具を使いながらプレーパークでの子どもの遊びを支援している。

2015年より、常設となった池袋本町プレーパーク事業を、豊島区から受託している。

### (3) 学びサポート

2010年から無料学習支援を行っている「クローバー」とのコラボで、大学生や地域のボランティアが勉強を教えている。季節に応じたイベントも行っており、悩みを相談できる関係づくりを大事にしている。

- ① 池袋 WAKUWAKU 勉強会：池袋区民ひろば（毎週火曜日）
- ② にほんごきょうしつ：池袋区民ひろば（毎週火曜日）
- ③ クローバー：上池袋第一まちづくりセンター（毎週水曜日）
- ④ クローバー朋有：区民ひろば朋有/ジャンプ東池袋（毎週木曜日）

### (4) 暮らしサポート

① 子ども食堂：食事と団らんを共にする。子ども同士・親同士の交流も生まれている。

- ・ 要町あさやけ子ども食堂（第1・3水曜日）
- ・ 池袋子ども食堂（第1・3木曜日）
- ・ 椎名町こども食堂（第2・4木曜日）
- ・ ほんちょこ食堂（第2・4火曜日）



② 夜の児童館（毎週火曜日）：孤食の子どもを対象に、登録制でお寺で夕食を無料提供する。食後は遊びの時間。

### (5) ネットワークづくり

としま子ども学習支援ネットワーク、子ども食堂ネットワークをバックアップしている。2015、2016年と「子ども食堂サミット」を開催した。

寄り添う学習支援と中高生の社会的居場所づくり  
～子どもの生きづらさを乗り越えて～  
(提言)

---

平成 28 (2016) 年 6 月  
第 10 期 葛飾区社会教育委員の会議

発行 葛飾区教育委員会事務局生涯学習課  
〒124-8555 東京都葛飾区立石 5-13-1  
電話 03-5654-8479